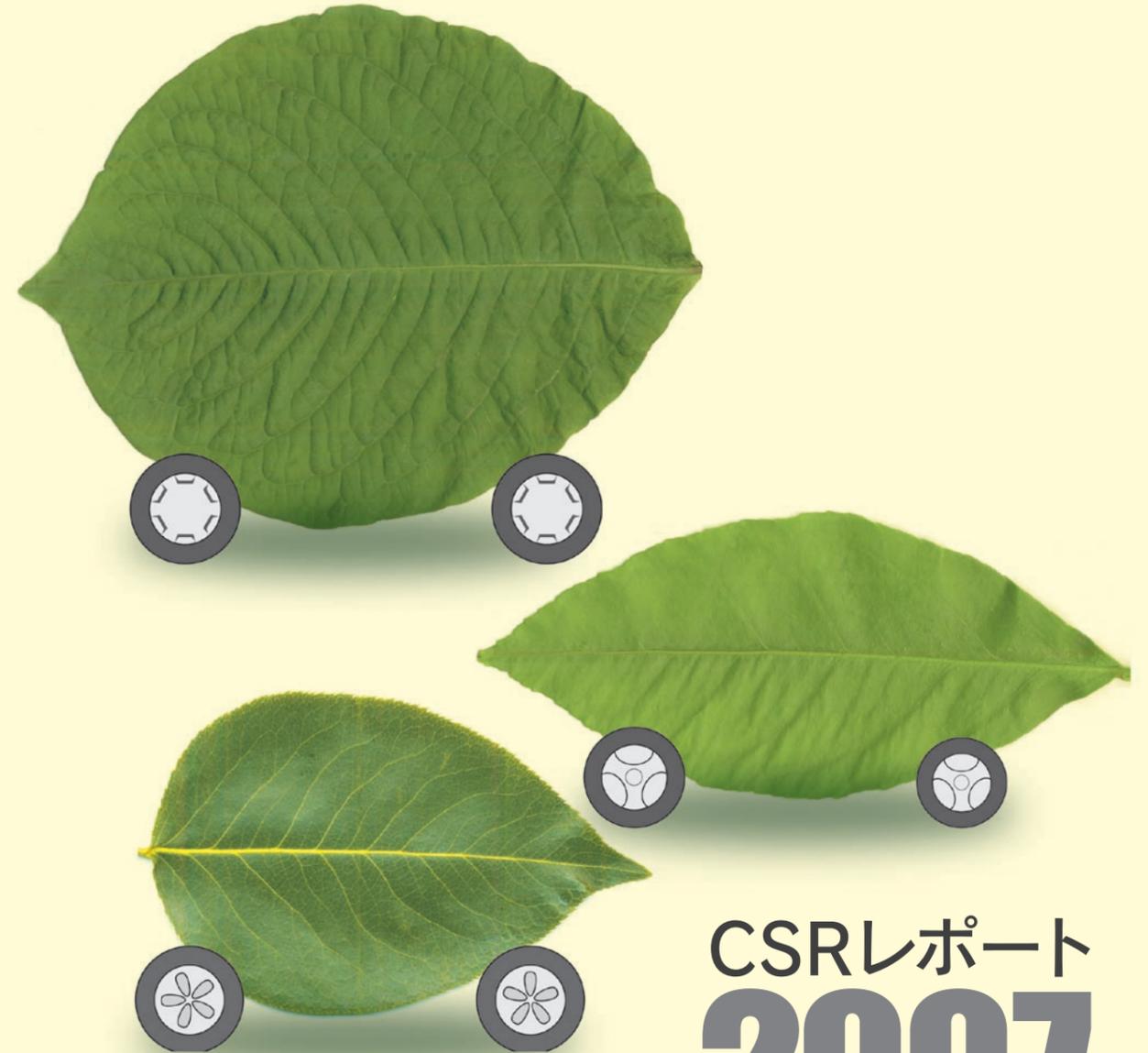




www.ngp.gr.jp



CSRレポート 2007

Corporate Social Responsibility Report



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 環境委員会

〒108-0074 東京都港区高輪3-25-33長田ビル2F
TEL.03-5475-1208

2007年10月1日発行



古紙配合率100%再生紙を使用しています

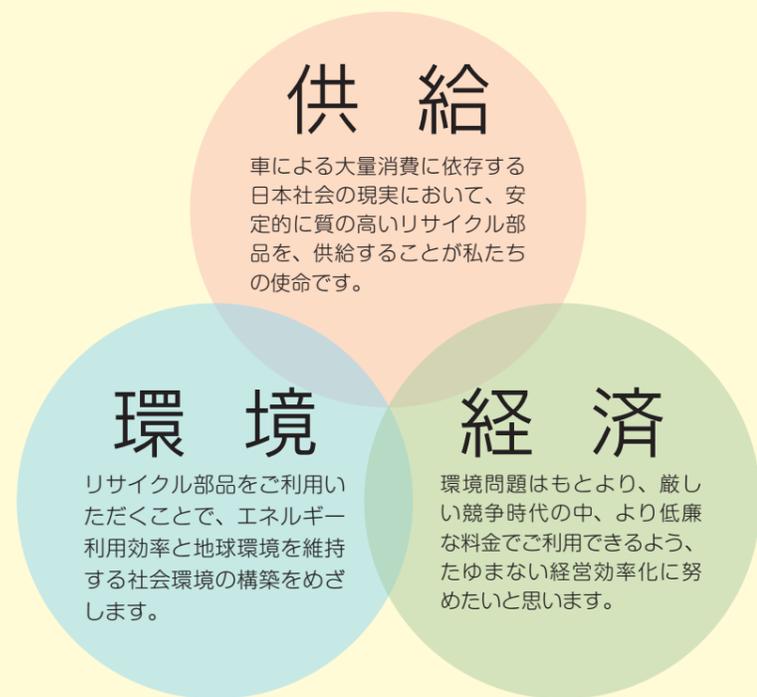


大豆油インキを使用しています

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合

時代はどんどんリサイクル リサイクル部品で環境にやさしく

地球温暖化、環境汚染、資源の枯渇など、環境問題はかなり深刻です。特に自動車業界はCO₂汚染、産業廃棄物など環境負荷を与えている印象はぬぐえません。リサイクル部品は使用済自動車から取り外され、品質基準をクリアした商品で、循環型社会の形成に、今後も利用の普及を啓蒙していかなければなりません。また使用済自動車の適正処理も今以上に厳重に取り扱うことが使命と考えています。



環境に配慮した製品の安定供給を私たちの使命として、 社会的責任を果たしていきます。

21世紀型の自動車 リサイクル時代に向けて

NGPは自動車リサイクル法施行に向けて、環境活動の基本理念「21世紀宣言」を提唱、「NGP環境行動指針」を公示し、廃自動車処理における社会的貢献の実現に向けて活動してまいりました。その後「環境報告書」の発行などによる社会への情報開示と環境マネジメントの定着を目指しております。

2005年の自動車リサイクル法施行後、自動車解体業界は大きく変化しました。業界の役割は一気に環境時代の最前線となり、円滑に機能しなければ国内外に及ぼす社会的責任は重いという認識になりました。地球環境意識の高まりは、自動車業界の積極的な対応が必要となり、使用済自動車のリサイクル、中でもリサイクル部品はその利用が注目されています。

我々は自動車リサイクル法第5条の規定「自動車所有者の責務」の遵守に基づき、一般ユーザーに“使用済自動車の適正処理意識の向上と、環境にやさしいリサイクル部品利用による修理の啓蒙に労を惜しまない”姿勢をNGP協同組合員に常に説明していきます。

コンプライアンス体制の強化と 良識ある社会市民として行動します

NGPはコンプライアンスを事業活動の大前提であると位置づけています。組合員および社員ひとりひとりが法令厳守・社会規範・企業倫理に誠実に行動する体制の整備、教育の研修などに取り組んでいかなければならないと思っています。組織の倫理を継続的にイノベーションできる風土づくり、不正防止、責任体制の確立を図り、良識のある行動を求めています。

安全と環境に配慮した 事業活動を推進

商品製造過程のCO₂の発生をはじめ、事業所における事故は地域と地球環境に多大な悪影響を及ぼす可能性があります。我々はそのような状況であっても「安全と環境」を最優先します。それぞれの事業所でISO14001の認証取得に取り組んでいます。また大量の産業廃棄物、有害物を取り扱うため、万一の緊急事態に備え、安全管理・危機管理体制を整備していくことを誓います。

お客さまに支持されるお店づくりを 強化・推進します

我々は事業所、組合が一体となり、CS経営に取り組んでいます。経営トップ、スタッフに至るまで全員が「お客さまに支持されるお店づくり」を共有し、すべてのお客さまに満足されるよう努めていきたいと思えます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合
理事長 青木 勝幸

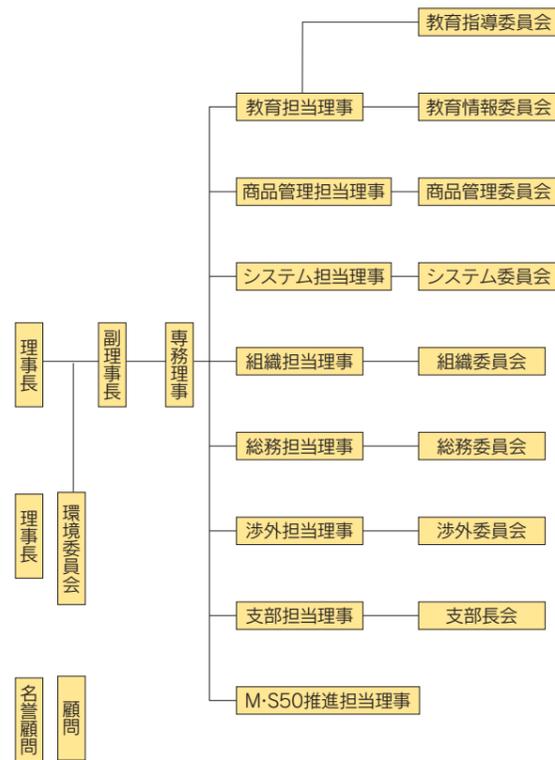


すべてのステークホルダーの方々と共存共栄を図り、事業競争力強化と持続可能な社会の実現に力を尽して成長を目指します。

組織概要

組織名 NGP日本自動車リサイクル事業協同組合
(所管 経済産業省)
本部 〒108-0074
東京都港区高輪3-25-33 長田ビル
創立 1985年4月
理事長 青木勝幸
組合員数 約200組合企業
主な事業内容
健全な自動車リサイクル事業の構築を目指し、全国組合員企業の経営意識向上、意識改革までの「企業の社会的責任」を遂行し、補修部品の消費者への啓蒙と販売

組織図



沿革

1985年 4月 九州3社により西日本グッドパーツグループとしてスタート
1986年 12月 メンバー店19社に
1987年 3月 本部設立、事務所を福岡に開設
1987年 4月 日本グッドパーツ (NGP) グループに名称変更
1987年 10月 第一回総会大会を開催 メンバー 30社に
1988年 9月 本部事務所を大分に移転 メンバー 54社に
1989年 6月 NGPオンラインネットワーク完成
1990年 11月 株式会社エヌ・シー・ピーを設立
1990年 12月 オンラインシステムの導入テストを開始
1991年 1月 NGPニュースを創刊
1991年 3月 5社によるNGPオンラインシステム開通
1991年 10月 第五回総会大会を開催 (5周年記念パーティー)
1993年 3月 オートリサイクルショー出展 (千葉・幕張) メンバー店80社に
1993年 10月 本部事務所を三重県鈴鹿市に移転
1994年 2月 オートリサイクルショー出展 (千葉・幕張)
NGP商品に品質保証ギャランティーの実施
1994年 4月 業界国際団体ARA (Automotive Recyclers Association) に加盟
1994年 10月 NGPグループ新会長に矢田 充就任
1995年 11月 日本自動車リサイクル部品販売団体協議会発足、同協議会加盟
1996年 10月 第10回総会大会開催 (10周年記念・別府) メンバー店125社に
オートリペア&メンテナンスショー '96出展 (東京・有明)
リサイクル部品協力店14,000店達成
1998年 10月 オートリペア&メンテナンスショー '98出展 (東京・有明)
1999年 6月 NGPグループ本部を東京に移転
2000年 12月 環境経営学会に入会
2001年 10月 NGPグループ15周年記念式典開催 (於 国立京都国際会館)
全国トヨタ部品共販へ (株)リサイクル部品供給開始
2001年 11月 第2回大阪モーターショー出展 (大阪)
2002年 1月 (株)安心ダイヤルリサイクル部品受注センターへ
リサイクル部品供給開始
2002年 2月 第1回国際オートアフターマーケットEXPO2002出展 (千葉・幕張)
2002年 6月 日動火災海上保険 (株)ヘリサイクル部品供給開始
2002年 7月 スーパーライン在庫登録点数が100万点を突破
2002年 11月 『環境報告書 (2002)』創刊
NGPグループ・IOエコパートナー全国説明会をスタート
2003年 3月 臨時総会開催 NGPグループ新会長に青木勝幸就任
2003年 6月 ISO14001認証取得会員 40社到達
2003年 7月 新NGPオンラインシステム本格稼働
2003年 8月 NGPグループ本部、東京品川に移転
2003年 11月 株式会社スーパーラインが株式会社NGPに社名変更となる
2004年 10月 NGP日本自動車リサイクル事業協同組合として設立総会開催
2005年 3月 国際オートアフターマーケットEXPO 2005出展 (4年連続出展)
2005年 5月 日本自動車車体整備協同組合連合会に賛助会員として入会
2005年 6月 NECソフトとの共同開発による新NGPシステム完成
2005年 9月 NGPシステムとJAPRAシステム相互利用に合意
2005年 10月 組合員149社 205拠点に
2005年 11月 廃車買取「くるマック」全国展開
2005年 12月 日本自動車車体整備協同組合連合会と
第一次NGPダイレクト試験運用開始 (2社)
「くるマック」全国34局ネットでラジオCMスタート
JAPRAメンバー第一次NGPシステム導入研修会
2006年 3月 第5回国際オートアフターマーケットEXPO2006出展 (千葉・幕張)
JAPRAメンバー NGPシステム運用開始
マツダ部品販売 (株)ヘリサイクル部品供給開始
2006年 6月 NGPと日本ローカルネットワークシステム協同組合と
協同で新輸送システムの研究開始。
2006年 8月 BSサミット向けNGPダイレクト運用開始
あいおいエコパートナーへのNGPダイレクトシステム展開
2006年 10月 第2回NGP日本自動車リサイクル事業協同組合通常総会
ロータス会員へのNGPダイレクトシステムの展開
エコプロダクツ2006出展 (東京ビックサイト)
2007年 1月 JA共済連と全損車両回収の業務提携
2007年 2月 NPO法人世界 (旧: 広島未来グループ) 入会
2007年 5月 早稲田大学・JAPRA・NGP共同で
CO₂削減効果のデータベース構築
2007年 7月 オートバックスセブンと車両引取の業務提携
2007年 9月 ISO9001認証取得 (NGP組合本部)

2006年度の事業報告

事業の概況

自動車産業は、海外販売は好調を持続したものの、国内の登録車販売は前年比5.4%低下し約372万台と推移し、軽自動車販売が好調であったものの総新車販売実績は昨年比1.9%低下し約574万台となっています。

我々の自動車リサイクル業界は、2005年1月1日施行された自動車リサイクル法が2年を経過し、同法の全体システムフローも明確となり、2006年度の使用済自動車の引取台数は、約357万台となりました。2007年度も8月までの使用済自動車引取報告台数は累計数160万台と昨年同月比106%で推移しています。

自動車リサイクル法施行以降、我々リサイクル業界には急激な変化、変革が押し寄せました。その中で、当期NGPグループは創立20周年を迎え、過去の草創期から、今からが新しい組織NGPへの青年・成長期が始まることと位置づけ、今後のNGPが更なる成長を継続するために何が必要であり、NGP組合活動を前進させる為にどのような改革が必要であるかを今期テーマとして活動いたしました。

中古部品共有在庫ビジネスに必要な不可欠のNGPパーツシステムの開発はもとより、お客様第一思想の原点として品質基準、研修・教育、会員育成指導のNGP組織の基礎土台を、今期に実践集団へのNGP組織変革を意図とし、構想の必達を期した活動でした。

結果、年間部品売上目標額400億には達しなかったものの、昨年実績対比101%の360億3千万円と昨年を上回りました。また、部品生産実績は、生産登録合計点数が昨年実績対比105.6%に増加し、それに比例して生産登録合計金額も102.1%の119億8千万と増加しました。“くるマック”のエンドユーザー廃車引取台数も、認知度向上とともに年間8,839台の成果となりました。

今後リサイクル業界は、大きな事業環境変化が予測されます。我々リサイクル業界の環境変化は、まだまだ強く続くと予測されます。

最近の新聞ニュース、テレビ番組にも見られるよ

うに、地球温暖化問題の深刻さが増し、CO₂削減へ消費者の環境保護への世相は、益々強くなっています。

経済産業省が10月をリサイクル月間と定め部品利用啓蒙パンフを配布し、国民挙げての、CO₂削減取組みが展開されています。

自動車整備業者も、「環境にやさしい整備事業者」への取組を推進しています。自動車整備業者の我々へのリサイクル部品3大要求「価格力、供給力、情報力」のニーズが、より鮮明になります。

NGP協同組合使用済自動車処理台数とリサイクルパーツ生産・販売金額



主な関係会社

株式会社NGP

NGP協同組合の関連会社で、2003年9月にNGP協同組合本部と同一事務所 (品川) に本社を移転し、組合と一元一体体制のもと、NGP協同組合支援を中心に事業活動を展開しています。

その事業内容は、NGPシステムの運営管理、損害保険会社及びリース会社等の使用済自動車引取業務、ISO14001のコンサルティング等で幅広く会員企業の経営拡大をサポートしています。

また、新たな自動車リサイクル時代に向けて、新システム活用の「NGPダイレクト」や「新事故車画像システム」を開発するなど、グループ戦略を推進しています。

私たちは、リサイクル部品の供給におけるあらゆる過程で、環境と安全に配慮しています。

車社会と地域環境のために リ・ユースという考え方

自動車リサイクル法の施行によって、自動車リサイクルシステムという大きな枠組みは完成しましたが、それだけでは使用済自動車による環境問題・資源問題の解決は不十分です。我が国は毎年5000万台の車が廃車になっています。これがそのまま廃棄物になると、500万トンもの廃棄量になります。全国で毎年排出される廃棄物（約7,000トン）の7%になり、大きな社会問題です。そこでこの膨大な廃車を再生資源として活かされたのが、リサイクル部品です。リサイクル部品は新たなエネルギーを使用せず、使える部品を再利用するので、最も環境負担の少ない資源の再利用方法と言えます。

リサイクル部品の商品化

入庫した使用済車両は、厳しいプロの目による現車チェックと、商品化可能な部品の選別から始まります。使用済車両を分解し、必要な部品のスチーム洗浄、厳正な機能検査を実施します。厳しい点検・性能検査に合格したリサイクルパーツは、整備工場での作業性を考慮、納品後すぐに取付作業のできる状態に仕上げ梱包されます。これらの商品は「NGPシステム」に登録され、全国からの検索・注文による流通まで倉庫に保管されます。

徹底した品質管理「ギャランティー・シール」



新品に匹敵する品質、そしてお求めになりやすい価格。リサイクルパーツはユーザーにとって大きな魅力を持っています。NGPグループのリサイクルパーツには、信頼の証である「ギャランティー・シール」が貼付されており、従来の中古パーツのイメージを一新し新しく広く受け入れられています。

リサイクル部品活用推進店証を発行



一般ユーザーとの窓口になる全国14,000の優良修理工場に対して「リサイクル部品活用推進店証」を発行し、リサイクルパーツのスムーズな流通と普及のPRに努めています。

リサイクルパーツ生産工程



1 引取

NGPグループのメンバーは、リサイクル法の許可を持っている会社ばかりなので安心してお任せください。速やかに車両を引取いたします。



2 入庫・検査

入庫された車輛はすべてコンピュータに入力されます。このコンピュータシステムこそ全国をオンラインで結んでいる「NGPシステム」です。すべての情報はこのNGPシステムに登録されます。



3 生産

フロン(R12,R134)、各オイル、LLC等回収した後、1点でも使用可能な部品を取り外します。1台から平均23点の部品がリサイクルされ、その後適正に処理されています。



4 美化・品質チェック

取り外した部品は1点1点厳正なチェックを行います。外装部品等ではNGPの商品化基準にあった物のみが商品として生産され、また、機能部品でも作動チェック・テスター機器等を使用して、より高度な品質をつくりあげています。これらすべてのNGPパーツには、信頼の証であるギャランティー・シールが貼付されます。



5 登録・在庫管理

これらのチェックに合格した商品のみが倉庫の棚に納められます。そして、NGPシステムには、チェックした商品の状態を細部まで登録し、いつでもスピーディーに出荷出来る様、管理・保管されています。



6 受注・梱包・発送

ご注文時にはNGPシステムを使い、全国約100万点の在庫をリアルタイムで即座に検索。国産車・外車を問わず、あらゆる部品に対応します。丁寧に梱包されたパーツはご注文の翌日には納品されます。（一部、発送により翌日お届けできない場合があります）

リサイクルパーツ製品

NGPリサイクルパーツは内外装部品・機能部品の331アイテムを生産しております。

外装部品				
	フロントドア	フロントバンパー	ガラス	ボンネットフード
	ヘッドランプ	テールランプ	フロントグリル	サイドミラー
エンジン・排気・足まわり部品				
	エンジン	コンプレッサー	ディストリビュータ	ラジエター
	ドライブシャフト	サスペンション	ホイール	マフラー
室内部品				
	CD・DVD・MD	メーターパネル	ステアリングホイール	フロントシート

基本理念と行動指針を实践

基本理念は、当組合の進むべき姿であり、その実現に向けて組合員が共有すべき価値観・心構えを示したものです。

また、行動指針は、基本理念を实践するための行動基準を示しています。組合員一人ひとりが日々これを念頭において行動することが、当組合のCSR活動の基本となっています。(2002年1月制定)

【基本理念】

これからも環境リサイクル時代の 社会貢献活動に取り組みます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合の前身であるNGPグループは1985年（昭和60年）に結成され、2004年には国内唯一の経済産業大臣認可の事業協同組合として組織を法人化したしました。

環境問題や資源問題に対する意識が全世界規模で高まる昨今、国内でも産業の裾野が広い自動車業界では、特に積極的な対応が求められています。

また2005年からは、自動車リサイクル法が完全施行となり、法令遵守、使用済自動車の適正処理が義務付けとなりました。

このような時代背景から、NGPグループではこれまで、従来のリサイクル部品共有在庫ネットワークの運営を行うとともに、使用済み自動車適正処理ネットワークとして全会員参加によるエコ推進運動の展開、損害保険会社・リース会社等の全損車両取引マニュアルを作成し、その適正処理を遵守した業務や自動車リサイクル法等の新たな制度説明会などの組織的活動を展開してまいりました。

さらに前述のとおり組織を法人化することで急激に進む環境保全への迅速な対応、専門性を追求する役割に対してNGP協同組合の組合員が果たすべき使命を全うできるよう体制が整いました。

NGP協同組合はこれからも、リサイクル部品の規格統一化、技術教育、啓蒙活動など、環境リサイクル時代の社会貢献活動をNGP協同組合組織活動の主課題として全力で取り組んでいきます。

NGPグループ21世紀宣言

2001年10月

一、我々は、使用済み車輛を
適正に処理します。

一、我々は、自動車リサイクル部品を
全面的に啓蒙します。

我々 NGPグループは創立20周年を迎え、リサイクル部品流通業界のリーダーとして、一人一人が責任を持ち、21世紀の社会に貢献していくことを誓います。2005年に施行された自動車リサイクル法を合わせ、地域社会に信頼され、存在価値のあるグループを目指します。

【行動指針】

- ① 環境保全活動を当グループの最重要課題と位置づけ、グループ全従業員の共通認識とします。
- ② 環境に関する法律、規制、自動車リサイクル法等を遵守し環境保全に取り組みます。
- ③ 環境負荷低減のため、環境目的・環境目標を定め、定期的に見直しを行うことにより、継続的な改善を図ります。
- ④ 工場内における解体作業については、適正かつ効率的なリサイクルが行われるよう解体技術の向上に努めます。また、同時に廃車車輛の全てにマニフェスト発行による管理を徹底します。
- ⑤ 設備の稼働については通常時のみならず、非通常時においても廃棄物の漏残、飛散等の未然防止、及び騒音の削減等の地域環境保全に努めます。
- ⑥ 事業活動全般に関して大気汚染、土壌汚染、水質汚染、悪臭の防止に努めます。
- ⑦ グリーン購入法に基づき、使用物品等を見直し、再生紙などの利用促進をするとともに、電気・水等のエネルギー消費の低減に取り組みます。
- ⑧ 定例ブロック会議を通して本方針を全グループ企業に周知させるとともに、グループ全従業員に対して教育し、自覚と意識の向上を図り、広く一般に開示します。

コーポレートガバナンス

当組合は、基本理念の実践を通じ、よき企業市民としての社会的責任を果たしています。その一環として、経営の効率性や透明性を確保するためのさまざまな取組みを推進しています。

2007年9月6日 ISO9001認定取得

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合の基本理念として掲げる『お客様第一』『よりよい商品を！より正確に！より早く！』『補修品業界のリーダーたること！』の3大信条は、普遍であります。私たちが取り巻く社会環境は、日々変化しております。ことに、循環型社会形成の胎動期にある現在において、私たちが扱う補修部品について、広くエンドユーザーにその存在を啓蒙し、自動車部品の『再使用』率を向上させることは、『循環型社会形成推進基本法』第7条が規定する循環資源の循環的な利用及び処分の基本原則に則した重要な責務であるといえます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は、前述の社会環境の変化に対応するためには、今まで以上の品質管理が重要であるとの認識のもと、平成19年9月、品質マネジメントの国際規格であるISO9001の認証・登録を受けるに至りました。これにより、私たちの扱う補修部品の品質向上は、そのまま自動車部品の『再使用』率の増加に繋がるものと信じてやみません。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は、法人化により、自動車部品の補修品業界の創生及びこの業界で働く人たちの地位向上を成し遂げました。そして、次は、私たちの業界が循環型社会形成の中心的存在となるべく努力していくことによって、持続可能な社会を構築していきたいと考えています。

内部統制を強化する体制を整備

組合員は、職務の執行に当たり、関連法令ならびに当社定款、基本理念、コンプライアンス基本規制および個別の社内規則、通達等を遵守するものとし、これを確保するため、特に、品質マネジメントシステムにおいて、右の体制を整備しています。

役割と品質目標

(1) それぞれの役割

① 理事長の役割

理事長の役割は、当組合組織の品質マネジメントシステムの構築及びその実施、並びに品質マネジメントシステムにおいて計画された結果が、計画どおりに達成され

るよう、継続的に改善することです。具体的には、以下の5つの事項を実施することになります。

②品質管理責任者の役割

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合品質マネジメントシステムにおいて、品質管理責任者は専務理事と位置づけられています。品質管理責任者は、理事長を補佐し、業務上の業務と関係なく品質マネジメントに関する業務の一切を統括します。具体的には、以下7項目の責任と権限を付与されています。

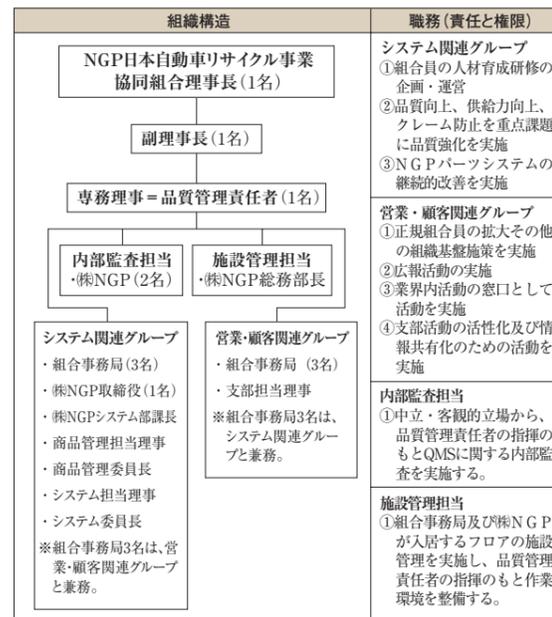
③システム関連グループの役割

システム関連グループは、『商品化基準』及び『NGP パーツシステム』の制作・運用管理を中心に活動します。組合員からの意見を吸い上げ、それを改善へとつなげていきます。

④営業・顧客関連グループ

営業・顧客関連グループは、各支部の活動と連携しながら、『商品化基準』及び『NGP パーツシステム』の制作・運用管理に関する組合員からの意見や苦情を収集・分析し、改善のための活動を実施します。

●マネジメント組織図



コンプライアンス/リスクマネジメント

当組合は、コンプライアンスがあらゆる事業活動の原則であると位置付け、基本方針、具体的基準および実施体制を規則に定め、コンプライアンスを徹底しています。

コンプライアンス基本方針

基本理念に基づき、組合企業の経営トップが率先し、一人ひとりが公の立場にたつて、法令厳守はもとより社会規範・企業倫理に則って誠実に行動するものとしています。そのため、企業の組織風土を継続的に変革するとともに、不正防止、責任体制の確立に取り組むことを基本方針として定めています。

コンプライアンスの具体的基準

上記基本方針に基づき、組合員が遵守しなければならない具体的基準として、次の22項目を掲げています。さらに、コンプライアンス基本規制では、その他すべての関連法令も遵守対象と定めています。

コンプライアンスの具体的基準(22項目)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 安全管理 | 13. 不当差別の禁止 |
| 2. 環境保護 | 14. セクシャル・ハラスメントの防止 |
| 3. 消費者保護 | 15. 個人情報の保護 |
| 4. 独占禁止法の遵守 | 16. 児童労働、強制労働の防止 |
| 5. インサイダー取引の禁止等 | 17. 利害相反行為の禁止 |
| 6. 不正競争防止法の遵守 | 18. 会社資産の使用禁止 |
| 7. 政治家、官公庁、公務員との公正な関係 | 19. 会社情報等のセキュリティ確保 |
| 8. 情報開示、責任説明 | 20. 適正な輸出管理 |
| 9. 反社会的勢力への対応 | 21. 投機目的取引の禁止 |
| 10. 適正な会計処理 | 22. 危機管理の徹底 |
| 11. 労働時間等の公正申告 | |
| 12. 贈答品等の受領禁止 | |

コンプライアンスの実施体制

当組合におけるコンプライアンスは、理事会の下部組織として設置された教育委員会を中心に推進されています。コンプライアンスに係る教育・啓蒙活動方針を策定するほか、重点テーマについて、取組状況を把握し、評価しています。

リスクマネジメント

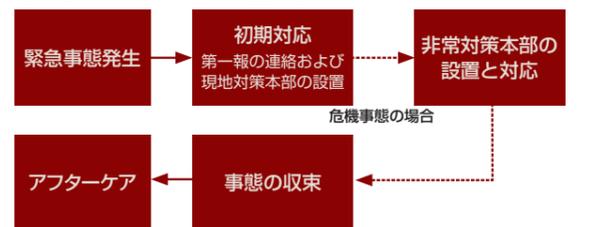
リスクマネジメントは、リスクアセスメント(事前対応)、リスクコントロール(発生時対応)およびリスクコミュニケーション(広報対応)に区分されますが、組合は特に未然防止のためのリスクアセスメントに重点を置いています。

災害の未然防止と緊急時対応

組合企業は、事業活動において、大量の危険物を取り扱っています。したがって、火災・爆発事故・労働災害といった火災の未然防止を最大の課題と位置付け、設備保全や運転管理、社員の教育研修など、あらゆる機会を通じて徹底を図ることとしています。さらに、台風、地震などの自然災害やテロ対策を含めた万一の緊急事態発生に備えて、適切な対応を図る体制を整えています。

特に、事故・災害の発生時の対応は、連絡通報および防災活動の指揮方法を定めており、これに基づき適切な防災措置を直ちに行うとともに、体制が機能することを定期的に確認しています。

連絡通報および防災活動の指揮方法



災害発生時の対応

万一、事業所内で災害が発生した場合は、災害発生事業所などにおいて、①災害調査表、②対策および再発防止策実施計画表、③災害原因分析表を作成することとしています。作成後本部に報告され、理事会において検討されます。最終的に本部で共有化し、再発や類似災害の防止を図ることとしています。

2006年度活動の取組み

2006年
9月

「第38回初期指導研修会」開催

9月11日～13日(3日間)岡山県倉敷市にてNGP基本理念・基本指針の研修

「第19回経営者研修会」開催

9月20日～23日(4日間)BumB東京スポーツ文化館にて基本訓練から経営管理・経営戦略などの研修を実施



2006年
10月

「第13回NGP基礎研修会」開催

10月5日～8日(4日間)BumB東京スポーツ文化館にて120名の受講生が参加

3R推進月間

全国各支部で自動車普及啓発活動を実施
10月10日品川駅で約2,000枚のチラシを配布。NGP全体で25万枚のチラシ配布。



「創立20周年記念式典」開催

10月20日シーホークホテル福岡
創立者大石名誉顧問を迎え、新たな飛躍を誓う。
また式典に先がけて、第2回通常総会も開催



2006年
12月

「エコプロダクツ2006」出展

12月14日～16日(3日間)東京ビッグサイト
使用済み自動車の適正処理、無料見積り、廃車引取りの「くるマック」の紹介など一般ユーザーに向けたPR活動を行いました。



2007年
1月

「第39回初期指導研修会」開催

1月17日～20日(3日間)BumB東京スポーツ文化館



JA共済連と全損車両回収で提携

全国共済農業協同組合連合会本部と全国規模で全損車両回収業務を行うことの契約締結

2007年
2月

「くるマック」キャラクター広告登場

JR品川駅構内、中央改札口横にNGPブランドの浸透を目的とした大型パネルを設置。

ISO9001の認証取得にチャレンジ

2月6日キックオフミーティングを開催し、取り組みに着手。リサイクル部品の品質向上、体制構築を目指す。



2007年
3月



能登地震、グループ企業の復旧支援

3月25日発生 of 能登半島地震で被害のあった組合員企業の応援のため、3月26日北陸支部、組合事務局が現地入り。27日、28日の2日間復旧作業

2007年
4月

「第13回中級研修会」開催

3月12日～16日(5日間)静岡県裾野市あいおい保険自動車研究所
自動車のメカニズム習得のための技術研修



2007年
5月



自動車整備業販促チラシCD 「お客様と華したい」キャンペーン開始

積極的なエコカーライフの提案と、自業者の販促チラシの入ったCD-ROMを特別割引価格で提供



2007年
5月

「第14回初級営業マン研修会」開催

5月13日～15日(3日間)BumB東京スポーツ文化館
営業の基本講義



リサイクル法の実態調査・外国人研修生問題で政府に陳情

5月29日NGOひろしま未来グループと共に、自民・公明両党の閣僚を訪問し、陳情活動を行う。



2007年
6月

「未来グループ」訪中団に参加

北京市担当局・解体関係者と懇談
6月25日～29日(4日間)北京市商務局、中国首鋼国際製鉄所、中国科学技術協会を訪問し意見交換。

オートバックスセブンと提携

国内最大大手カー用品チェーンのオートバックスセブン(全国375店舗)と廃車の買取り業務提携

2007年
7月



「第14回中級研修会」開催

7月23日～27日(5日間)静岡県裾野市あいおい保険自動車研究所

2007年
8月

ISO9001認証取得最終審査完了、9月6日認定取得予定

最終審査を7月30日に終了。いよいよNGPシステムの品質は世界基準に。

「くるマック」ラッピングカーでPR

組合員の社用車をPR使用にラッピング広告を施工。50社の応募があり、8月からPR活動開始。



環境マネジメントの推進

当組合は、環境改善活動に取り組むために、環境マネジメントシステムを構築し、すべての組合員においてISO14001認証を推進しています。

また、組合員事業所に環境教育を実施し、環境保全に対する意識の高揚を図りつつ、環境改善活動に取り組んでいます。

環境保全に関する方針

当組合は、基本理念にあるように、これからも環境リサイクル時代の社会貢献活動に取り組みます。行動指針の考え方にに基づき、環境保全方針を策定し環境保全、環境負荷の低減、地球環境問題等に対する取組みを推進しています。

ISO14001認証取得活動

当組合は、環境保全規則に基づき、環境改善活動を実践しています。

特に、組合員企業においては、2006年までに90

社がISO14001の認証を取得しており、それぞれの事業内容や地域特性を考慮して、省エネルギー、リサイクル・廃棄物抑制、大気・水質汚染防止等の環境改善活動に組織的・継続的に取り組んでいます。

商品・サービスを通じた環境貢献

当組合は、損害保険会社・オートリース会社などと提携し、使用済自動車の適正処理またリサイクル部品を活用する処理の推進に協力しています。またインターネットを活用したリサイクル部品の検索・販売システム「NGPダイレクト」は2006年より開発・提供しています。

ISO14001認証取得会社一覧

取得会社名	登録日	取得会社名	登録日	取得会社名	登録日
(株)辻商会	2003年 1月24日	津田鋼業(株)	2003年 1月23日	(株)オートリサイクルナカシマ	2004年 9月24日
(株)アシスト・フクダ	2003年 1月15日	(株)リベアパーツ	2005年 1月27日	(株)パーツライン	2003年 1月26日
(株)マテックELV石狩	2001年6月5日 (更新日)	(有)山一商店	2003年 1月22日	(株)オートパーツ伊地知	2001年 6月13日
(株)エルバ北海道	2005年 3月29日	(有)堀川自動車商会	2003年10月22日	(株)グッパ福岡	2003年 3月12日
釧路オートリサイクル(株)	2006年12月27日	(有)メタルオート北陸	2005年 3月24日	(有)ユービー宮崎	2003年 3月28日
(有)むつパーツ	2004年12月17日	(株)コマゼン	2003年 3月26日	(株)アールトヨー	2004年11月25日
(株)福島リパーツ	2004年12月24日	(株)テラダパーツ	2003年12月18日	(有)イノクチ	2004年12月 9日
(株)永田プロダクツ	2004年 1月14日	(株)テラダパーツ イイダ	2003年12月18日	オートバルスニホウ	2004年12月 9日
(有)安瀬商店	2004年 9月 8日	(有)オートパーツまるも	2005年 4月12日	(株)久保田オートパーツ	2003年 4月11日
(株)ナプロフクシマ	2003年 3月18日	(株)ウィン	2007年 5月19日	大成自動車(有)	2004年12月 9日
(株)エコブリッジ	2004年12月20日	(株)カンザキ	2003年 3月20日	(有)パーツランド東部	2004年12月 9日
(株)アイエス総合	2004年10月25日	(株)多田自動車商会	2003年 3月18日	WARC西日本オートリサイクル(株)	2003年 1月30日
(株)青南商事 弘前支店 アルトレック青森	2002年 2月27日	(株)ラ・テール	2003年 3月28日	(有)オートリサイクルナカシマ福岡	2004年9月24日 (更新日)
(株)栃木パーツ	2004年 6月 7日	(株)堀尾自動車部品	2003年 2月25日	(有)タバタ商会	2004年11月25日
(株)共伸商会	2003年12月11日	(株)草山パーツ	2003年 4月25日	(株)エイ・ティ・エム	2003年 3月18日
(有)黒崎部品	2003年 1月21日	(株)紀南パーツ	2003年 3月25日		
(株)茨城オートパーツセンター	2003年 2月21日	(株)桜井	2003年 4月25日		
(有)田崎商店	2003年12月 3日	クレストパーツ	2003年 2月26日	●メイト会員	
(株)拓殖商会	2003年12月15日	(有)山陰UP販売	2007年 8月23日	オレンジパーツ平成	2004年12月20日
(有)しのぶや	2003年 2月28日	(株)佐伯商会	2004年 1月23日	(有)アンドーカーパーツ	2006年 3月14日
(株)ユーパーツ	2002年 7月26日	(株)桃太郎部品	2003年 2月20日	(有)まりも商会	2003年10月30日
カースチール(株)	2004年 8月 4日	(株)オートパーツ幸城	2003年12月17日	轟商会	2003年 1月24日
カースチール(株)東毛営業所	2004年 8月 4日	(有)オートパーツ新居浜	2003年 2月27日	(有)大多和商会	2003年 1月22日
(株)3R	2002年 7月10日	岡崎車輻部品(株)	2003年 2月28日		
(株)マルトシ青木	2003年 1月20日	(有)東和	2003年 7月23日	●賛助会員	
太田部品(株)	2003年 1月29日	エコテクノ(株)	2004年 1月28日	(有)オートパーツ長谷山	2003年 1月22日
(有)オートパーツ片岡	2004年12月24日	(株)エビス	2003年 9月12日	(株)オートパーツ三伸	2006年 3月24日 (更新日)
(株)大橋商店	2003年 1月27日	ウエイクパーツ	2003年 8月29日	石上車輻(株)恵庭店	2004年 5月19日
(有)安全自工	2003年 3月28日	(株)山陰エコリサイクル	2005年 2月10日		
(株)河村自動車工業	2003年11月21日	(有)みうら	2003年 2月28日		
(有)ツクダ自動車	2004年12月17日	(有)國興商店	2004年 1月 9日		
(株)ハセ川自動車	2003年 1月21日	(株)予洲商事	2004年 1月21日		
		(有)西川商会	2004年10月22日		
		島根オートリサイクルセンター	2006年 8月 8日		

取得会社合計数 90

平成19年8月31日現在

省エネルギーの推進活動

省エネによる温室ガスCO₂排出量削減がますます重要となり、組合員企業全生産拠点で本年度より統計をとり、さまざまな節電活動を実施しております。今後はさらなる削減を目指し、統計的な省エネ運動につなげていきたいと思っております。

CO₂削減値



年間削減値
91,723トン

リサイクル部品の実物などを経済産業省がロビーに展示

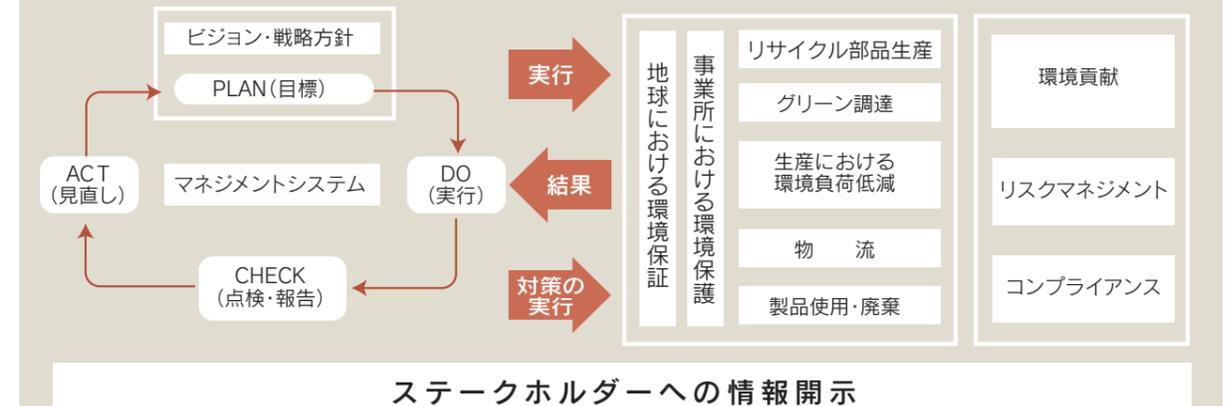
経済産業省は2006年1月12日から25日まで、本館1階ロビーで自動車リサイクルの特別展示を開催しました。

展示初日には渡辺博道経済産業副大臣も訪れ、同省自動車課の中石齊孝リサイクル室長などがガイド役を務めて渡辺副大臣を案内されました。



同展示は昨年10月に行われた全国規模のチラシ配布や、12月のエコプロダクツ展への出展、またラッピングバスでのPR、電車の中吊り広告など自動車リサイクル法啓蒙の一環として行われたもので渡辺副大臣は説明を聞き「本省は自動車リサイクルを通じて環境や3Rに取り組んでいます。皆さんは解体事業者ではなく、環境保全を推進する事業者です。今後も支援するので頑張ってください。」と自動車解体業者に激励の言葉を述べるとともに、改めて一般ユーザーに向けた自動車リサイクルの啓蒙活動の必要性を訴えました。

環境マネジメントの概念



ステークホルダーへの情報開示

毎年出る400万台の廃車。 「リサイクルパーツ」としても、もっと活用するため、 当組合では廃車の買い取りサービスを展開中。

「くるマック」のご紹介

Recycleからとった「cle」と、motor advance clubの略称の「mac」の構成からなります。「cle」はエコをイメージし細く優しさを、「mac」は業務としての力強い信頼性を表しています。

3つの自動車リサイクルを結ぶ新たなサービスを展開中!!

2005年1月より施行された「自動車リサイクル法」に伴い、エンドユーザーの認知度・理解度を補い、安心して適切に使用済自動車をリサイクルするサービスを提供いたします。また、整備事業者の方々にとっても、エンドユーザーからの使用済自動車に関するお問合せや手続きなどをアドバイスできるサービスとしてご利用いただけます。

サブマスコット【くるんば】
土でできた、不思議な生き物。変幻自在に形を変えて、神出鬼没に登場します。とてもやんちゃな性格で、非常に自立心が強いです。黙っていてもどんどん登場します。

メインマスコット【くるマック】
地球をこよなく愛す、心やさしいクマです。性格はほのぼのとした温厚さがありますが、責任感が強く頼れる存在です。好奇心が旺盛で色々なことにチャレンジするのが好きです。

主なサービスの内容
エンドユーザーからのお電話・Eメールによるお問合せにより、各種サービスを提供いたします。

廃車見積もりサービス
使用済自動車を、中古車または廃車として引取るかの判断をし、買取価格・費用・リサイクル料金などの提示をいたします。

廃車引取りサービス
使用済自動車を引取りに伺い、買取価格・費用・リサイクル料金などの説明もいたします。

補修部品全体に占めるリサイクルパーツの比率

アメリカ **46%** 日本 **4%**

1台の廃車から取り出すリサイクルパーツ数

アメリカ **42** パーツ 日本 **23** パーツ

国内での保有台数と推定廃車台数の推移

保有台数 推定廃車台数

1993 1995 1997 1999 2001 2003 2005(年)

廃車台数中 NGP 回収車

約 **500,000** 台/年

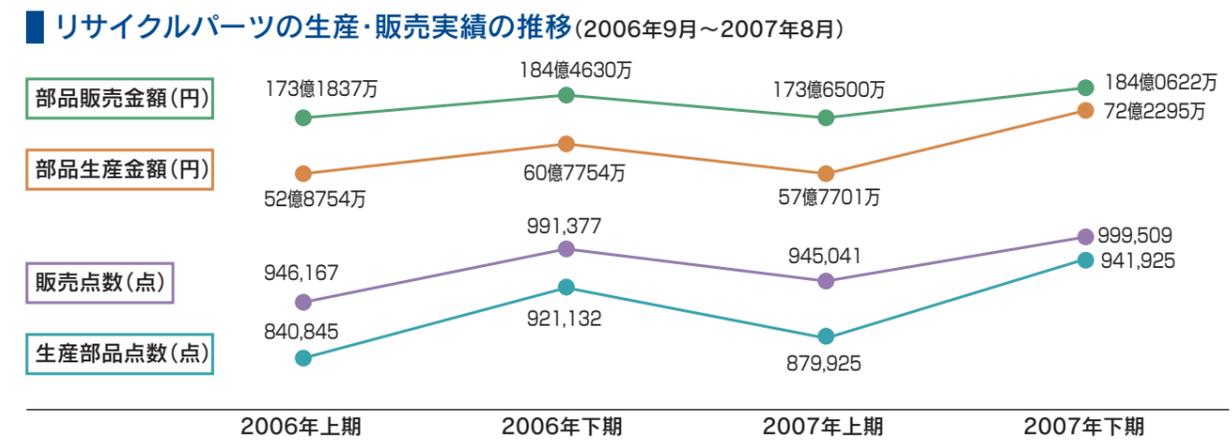
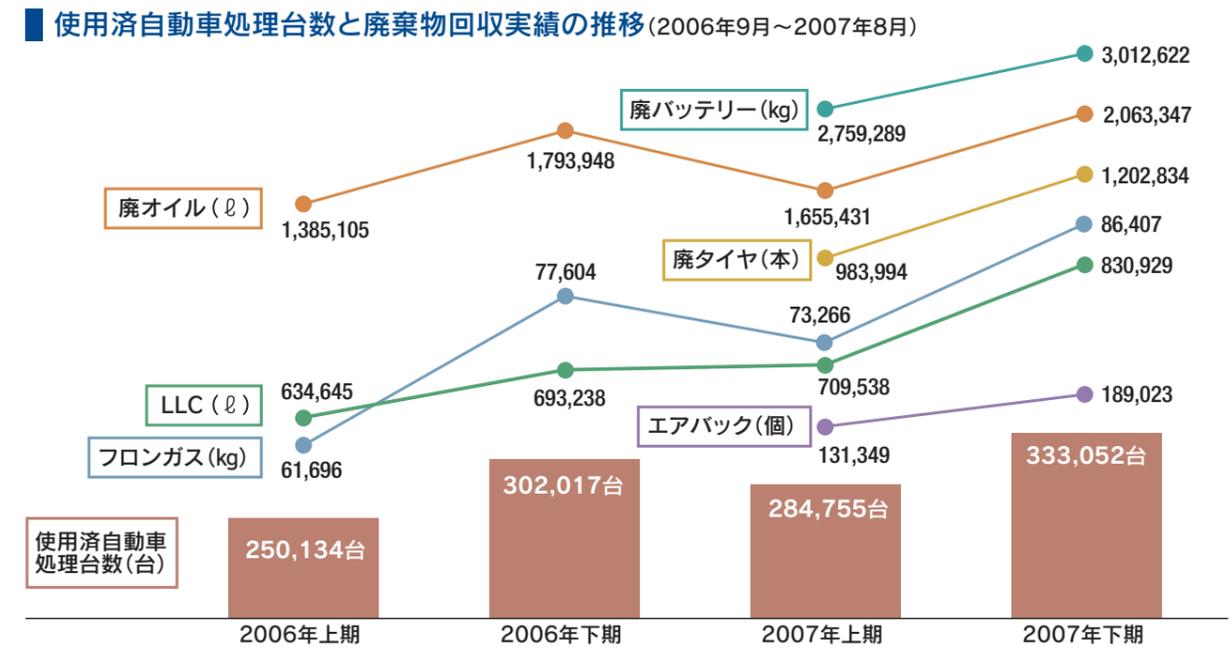
地球環境を守るため真剣に『適正処理』に取り組んでいます。

使用済自動車処理・回収
事故による全損車輛やリースアップ車輛を積載車輛にて引取りします。引取・処理には自動車リサイクル法の引取業者、フロン類回収業者、解体業者、破砕業者の登録・許可が必要です。当組合では、使用済車輛適正処理を実施する全国ネットワークとして、電子マニフェスト（移動報告）による管理を徹底しています。

廃オイル・LLC
土壌汚染・水質汚濁の原因である廃オイル・LLC等は丁寧に回収しなければなりません。また、浄化槽設備を充実させ、工場敷地外への流出防止に努め、土壌汚染・水質汚濁の影響調査を実施するように指導しています。回収後には、適正引取業者に処理委託をおこない、引取業者証明書によってその状況を把握しています。

フロンガス
カーエアコンの冷媒として使われているフロン類は大気に放出すると、オゾン層の破壊や地球温暖化の要因になるため、適正な処理（破壊）をする必要があります。また、処理する事が自動車リサイクル法では義務づけられています。

エアバック
エアバック類はガス発生剤を使用しており爆発性があるため、使用済自動車のリサイクルを適正かつ確実にを行うため、解体業者は使用済自動車を引き取ったときは、「エアバック類」を適正に処理する必要があります。また、処理する事が自動車リサイクル法では義務づけられています。



2006年度使用済自動車処理台数・廃棄分回収処理実績 (2006年9月～2007年8月)

都道府県	使用済自動車処理台数(台)					フロンガス回収処理(kg)					廃オイル回収処理(リットル)					LLC回収処理(リットル)					エアバック展開・回収処理(個)			廃タイヤ処理(本)			廃バッテリー処理(kg)		
	上期	下期	合計	前年	前年比	上期	下期	合計	前年	前年比	上期	下期	合計	前年	前年比	上期	下期	合計	前年	前年比	上期	下期	合計	上期	下期	合計	上期	下期	合計
北海道	27,433	29,668	57,101	56,726	100.7	6,195	8,033	14,228	14,939	95.2	84,946	103,964	188,910	209,669	90.1	48,834	61,667	110,501	116,937	94.5	10,269	15,772	26,041	100,460	100,119	200,579	253,663	232,087	485,750
青森県	9,910	13,238	23,148	24,573	94.2	1,502	1,520	3,022	4,116	73.4	63,304	80,306	143,610	127,675	112.5	39,232	38,244	77,476	87,250	88.8	1,753	2,538	4,291	29,150	38,497	67,647	68,000	87,561	155,561
岩手県	4,428	6,542	10,970	920	1192.4	883	1,214	2,097	268	782.5	22,511	31,888	54,399	63,720	85.4	8,780	16,065	24,845	1,970	1,261.20	916	1,538	2,454	15,360	19,935	35,295	36,253	46,504	82,757
秋田県	2,223	2,548	4,771	3,478	137.2	384	386	770	780	98.7	0	6,400	6,400	900	711.1	0	0	0	2,861	0	689	1,002	1,691	7,463	10,648	18,111	21,200	21,400	42,600
山形県	3,482	5,646	9,128	5,780	157.9	355	731	1,086	975	111.4	8,000	25,300	33,300	23,364	142.5	13,850	15,750	29,600	9,563	309.5	722	2,240	2,962	9,576	19,939	29,515	31,815	54,579	86,394
宮城県	5,464	6,854	12,318	11,549	106.7	779	1,286	2,065	2,083	99.1	35,470	52,560	88,030	65,400	134.6	3,650	7,030	10,680	14,320	74.6	2,307	3,092	5,399	20,863	25,305	46,168	5,567	18,767	24,334
福島県	10,552	13,986	24,538	17,952	136.7	1,980	2,649	4,629	3,166	146.2	77,758	97,768	175,526	137,073	128.1	31,354	37,674	69,028	51,020	135.3	4,132	6,611	10,743	41,404	48,080	89,484	57,263	100,664	157,927
茨城県	3,687	4,895	8,582	6,577	130.5	1,308	1,797	3,105	1,977	157.1	22,150	30,550	52,700	35,820	147.1	9,580	13,670	23,250	16,870	137.8	2,091	3,581	5,672	13,469	20,021	33,490	43,760	48,720	92,480
栃木県	9,487	11,032	20,519	16,919	121.3	2,235	2,294	4,529	3,797	119.3	69,300	96,200	165,500	135,550	122.1	18,530	25,350	43,880	39,800	110.3	4,180	6,496	10,676	32,441	47,008	79,449	101,800	112,280	214,080
群馬県	9,648	11,078	20,726	20,825	99.5	3,650	3,952	7,602	7,287	104.3	56,120	55,280	111,400	109,150	102.1	57,600	55,169	112,769	86,210	130.8	8,837	11,611	20,448	40,348	46,736	87,084	115,328	115,991	231,319
新潟県	8,523	10,083	18,606	14,978	124.2	958	1,730	2,688	1,330	202.1	68,940	83,142	152,082	137,912	110.3	22,970	34,361	57,331	41,796	137.2	1,805	2,342	4,147	36,289	43,254	79,543	79,197	81,185	160,382
山梨県	1,579	1,978	3,557	3,323	107	497	501	998	973	102.6	128,350	147,750	276,100	171,905	160.6	0	0	0	0	0	10,152	13,647	23,799	4,805	6,659	11,464	19,197	17,430	36,627
埼玉県	19,350	21,143	40,493	23,069	175.5	7,266	7,110	14,376	7,621	188.6	7,550	9,400	16,950	13,200	128.4	88,060	105,630	193,690	117,749	164.5	1,002	1,452	2,454	32,047	30,654	62,701	268,900	185,140	454,040
東京都	2,598	3,060	5,658	7,960	71.1	822	960	1,782	2,732	65.2	9,466	7,900	17,366	7,816	222.2	5,707	4,410	10,117	10,151	99.7	1,740	2,260	4,000	10,545	12,941	23,486	13,375	16,836	30,211
千葉県	10,953	13,087	24,040	24,909	96.5	3,355	3,845	7,200	6,514	110.5	49,001	64,050	113,051	86,407	130.8	35,249	43,495	78,744	102,042	77.2	3,964	7,207	11,171	41,421	51,825	93,246	39,500	54,921	94,421
神奈川県	7,476	7,707	15,183	15,560	97.6	2,869	3,220	6,089	5,238	116.2	18,200	19,200	37,400	56,180	66.6	20,180	27,090	47,270	42,100	112.3	4,390	5,285	9,675	22,114	23,669	45,783	54,837	63,908	118,745
静岡県	8,032	10,371	18,403	12,949	142.1	1,459	2,392	3,851	1,591	242	56,350	71,350	127,700	110,650	115.4	17,498	21,550	39,048	29,882	130.7	3,954	6,292	10,246	27,888	29,175	57,063	79,566	93,560	173,126
石川県	4,347	5,543	9,890	8,792	112.5	788	1,097	1,885	1,473	128	65,468	80,216	145,684	133,827	108.9	3,800	5,060	8,860	5,480	161.7	5,458	6,596	12,054	13,529	20,857	34,386	41,060	50,682	91,742
福井県	5,281	5,735	11,016	8,011	137.5	1,176	1,558	2,734	1,874	145.9	26,600	35,200	61,800	47,707	129.5	8,600	8,800	17,400	10,200	170.6	3,014	4,771	7,785	23,019	28,440	51,459	44,255	74,382	118,637
富山県	9,027	10,748	19,775	18,611	106.3	2,059	2,519	4,578	4,584	99.9	58,000	54,100	112,100	99,044	113.2	21,600	29,100	50,700	50,600	100.2	3,326	3,806	7,132	36,032	40,339	76,371	101,300	129,140	230,440
愛知県	13,500	15,711	29,211	29,995	97.4	2,719	3,484	6,203	13,610	45.6	25,664	6,785	32,449	8,145	398.4	22,426	27,718	50,144	61,336	81.8	2,047	839	2,886	45,696	46,389	92,085	145,880	137,750	283,630
岐阜県	4,571	5,338	9,909	10,421	95.1	1,278	1,682	2,960	3,007	98.4	22,300	30,710	53,010	54,450	97.4	14,820	20,380	35,200	42,950	82	1,925	2,756	4,681	16,600	18,700	35,300	10,020	41,230	51,250
長野県	6,689	6,967	13,656	11,167	122.3	1,876	1,372	3,248	2,764	117.5	41,000	44,800	85,800	65,900	130.2	17,100	19,950	37,050	21,340	173.6	2,139	3,922	6,061	21,141	31,080	52,221	45,526	72,631	118,157
三重県	4,143	1,093	5,236	2,152	243.3	1,232	239	1,471	338	435.2	57,000	70,300	127,300	123,300	103.2	17,165	4,738	21,903	5,638	388.5	4,580	7,409	11,989	11,748	5,051	16,799	53,611	18,335	71,946
滋賀県	914	1,021	1,935	2,116	91.4	136	139	275	163	168.7	4,200	5,500	9,700	11,350	85.5	3,000	3,270	6,270	6,290	99.7	584	713	1,297	3,656	4,084	7,740	4,570	8,030	12,600
京都府	3,531	4,221	7,752	6,582	117.8	925	995	1,920	1,760	109.1	13,450	12,800	26,250	29,150	90.1	3,080	4,500	7,580	6,177	122.7	1,877	2,691	4,568	7,680	8,594	16,274	30,307	28,582	58,889
兵庫県	14,031	16,756	30,787	28,950	106.3	4,364	5,108	9,472	3,774	251	34,738	52,640	87,378	83,633	104.5	22,681	10,991	33,672	29,967	112.4	4,882	8,578	13,460	41,158	47,486	88,644	161,186	155,829	317,015
和歌山県	2,770	2,820	5,590	5,584	100.1	554	510	1,064	1,098	96.9	17,005	21,350	38,355	25,410	150.9	5,773	5,520	11,293	10,470	107.9	615	1,385	2,000	10,464	13,507	23,971	23,310	36,266	59,576
大阪府	816	956	1,772	1,492	118.8	174	240	414	446	92.8	1,773	2,400	4,173	12,280	34	2,070	2,380	4,450	3,360	132.4	311	402	713	4,080	4,780	8,860	18,500	24,000	42,500
広島県	11,000	13,370	24,370	29,867	81.6	4,657	5,529	10,186	9,190	110.8	127,300	170,300	297,600	185,650	160.3	33,800	50,800	84,600	86,900	97.4	8,166	11,440	19,606	52,780	70,355	123,135	173,376	193,264	366,640
岡山県	9,012	11,058	20,070	19,135	104.9	2,171	3,135	5,306	5,913	89.7	53,000	68,250	121,250	105,600	114.8	22,500	22,560	45,060	45,850	98.3	4,815	7,532	12,347	34,018	45,056	79,074	95,275	89,665	184,940
島根県	4,611	6,301	10,912	11,109	98.2	1,205	1,583	2,788	1,750	159.3	35,151	43,514	78,665	66,044	119.1	5,006	6,946	11,952	6,498	183.9	2,325	3,098	5,423	20,446	26,223	46,669	102,085	127,305	229,390
山口県	3,339	4,223	7,562	6,928	109.2	767	951	1,718	1,942	88.5	50,550	63,300	113,850	123,250	92.4	10,090	11,900	21,990	19,030	115.6	2,175	3,461	5,636	15,209	19,284	34,493	28,950	29,006	57,956
鳥取県	5,161	6,162	11,323	9,060	125	1,130	1,642	2,772	1,941	142.8	26,450	37,150	63,600	65,850	96.6	8,100	11,300	19,400	13,250	146.4	1,873	2,481	4,354	14,577	31,149	45,726	65,190	56,170	121,360
徳島県	1,055	1,205	2,260	3,261	69.3	471	379	850	477	178.2	2,800	4,350	7,150	7,068	101.2	1,600	1,600	3,200	2,000	160	416	537	953	4,529	7,967	12,496	5,745	11,550	17,295
香川県	1,848	2,366	4,214	4,106	102.6	519	610	1,129	1,045	108	10,400	12,900	23,300	19,900	117.1	5,500	6,500	12,000	11,400	105.3	454	766	1,220	5,682	18,287	23,969	14,615	25,068	39,683
愛媛県	2,514	3,150	5,664	6,690	84.7	723	780	1,503	1,295	116.1	25,040	28,300	53,340	52,560	101.5	7,800	9,100	16,900	16,300	103.7	1,127	1,490	2,617	10,882	14,326	25,208	25,530	33,000	58,530
高知県	2,030	2,478	4,508	4,200	107.3	472	575	1,047	1,146	91.4	9,626	12,012	21,638	15,250	141.9	4,200	800	5,000	7,400	67.6	839	1,207	2,046	8,871	10,415	19,286	2		

2006年度リサイクルパーツ生産・販売実績 (2006年8月～2007年8月)

都道府県	リサイクルパーツ生産 部品点数(点)					リサイクルパーツ生産 金額(単位千円)					リサイクルパーツ 販売点数(点)					リサイクルパーツ 販売金額(単位千円)				
	上期 (06年9～07年2月)	下期 (07年3～8月)	合計	前年 (05年9～06年8月)	前年比%	上期 (06年9～07年2月)	下期 (07年3～8月)	合計	前年 (05年9～06年8月)	前年比%	上期 (06年9～07年2月)	下期 (07年3～8月)	合計	前年 (05年9～06年8月)	前年比%	上期 (06年9～07年2月)	下期 (07年3～8月)	合計	前年 (05年9～06年8月)	前年比%
北海道	107,857	127,529	235,386	227,851	103.3	550,199	652,799	1,202,998	1,180,680	101.9	108,590	110,035	218,625	218,343	100.1	1,711,589	1,795,473	3,507,062	3,475,573	100.9
青森県	25,677	22,858	48,535	43,009	112.8	155,855	141,233	297,088	281,633	105.5	19,014	19,694	38,708	37,466	103.3	333,970	346,325	680,295	646,221	105.3
岩手県	11,063	8,350	19,413	22,551	86.1	51,337	42,742	94,079	99,871	94.2	3,689	3,734	7,423	6,331	117.2	82,044	79,675	161,719	156,474	103.4
秋田県	7,154	6,746	13,900	7,899	176.0	35,149	38,476	73,625	48,304	152.4	2,732	3,113	5,845	5,314	110.0	54,967	63,524	118,491	109,644	108.1
山形県	16,173	18,995	35,168	32,365	108.7	90,386	117,004	207,390	193,622	107.1	10,103	9,979	20,082	19,129	105.0	183,036	198,392	381,428	448,619	85.0
宮城県	10,861	14,008	24,869	22,059	112.7	69,651	85,778	155,429	136,821	113.6	7,867	9,333	17,200	14,626	117.6	171,061	197,252	368,313	300,592	122.5
福島県	44,966	51,725	96,691	81,038	119.3	246,434	271,721	518,155	496,080	104.4	31,744	35,256	67,000	63,313	105.8	598,774	669,418	1,268,192	1,219,086	104.0
茨城県	12,881	14,688	27,569	23,351	118.1	104,537	108,688	213,225	190,617	111.9	27,510	30,494	58,004	54,496	106.4	419,611	469,409	889,020	825,125	107.7
栃木県	21,070	20,651	41,721	42,537	98.1	169,663	155,659	325,322	294,912	110.3	28,565	29,908	58,473	57,152	102.3	518,832	524,766	1,043,598	965,274	108.1
群馬県	18,490	18,944	37,434	53,151	70.4	122,651	122,099	244,750	332,222	73.7	26,950	27,849	54,799	54,674	100.2	430,399	447,701	878,100	986,988	89.0
新潟県	24,069	23,734	47,803	51,309	93.2	178,012	190,896	368,908	344,913	107.0	24,139	25,136	49,275	47,919	102.8	411,525	448,104	859,629	845,558	101.7
山梨県	3,179	3,520	6,699	7,113	94.2	29,562	31,427	60,989	66,442	91.8	14,817	5,629	20,446	12,543	163.0	115,301	114,892	230,193	268,730	85.7
埼玉県	30,896	27,839	58,735	63,209	92.9	258,695	249,913	508,608	496,859	102.4	56,146	70,788	126,934	131,014	96.9	1,245,086	1,356,698	2,601,784	2,503,712	103.9
東京都	6,810	6,621	13,431	12,942	103.8	67,295	48,192	115,487	118,344	97.6	45,444	49,020	94,464	95,896	98.5	787,074	828,921	1,615,995	1,753,213	92.2
千葉県	20,597	22,870	43,467	45,011	96.6	151,467	159,559	311,026	348,507	89.2	35,114	36,200	71,314	74,290	96.0	579,452	621,339	1,200,791	1,250,870	96.0
神奈川県	33,590	34,241	67,831	70,527	96.2	188,435	195,605	384,040	420,757	91.3	37,961	40,093	78,054	90,036	86.7	674,551	713,777	1,388,328	1,535,686	90.4
静岡県	26,480	31,257	57,737	50,977	113.3	171,652	204,626	376,278	358,125	105.1	30,230	31,507	61,737	59,095	104.5	595,697	648,078	1,243,775	1,215,745	102.3
石川県	21,824	21,351	43,175	46,729	92.4	132,797	263,182	263,182	312,922	84.1	15,131	16,746	31,877	33,775	94.4	338,693	352,494	691,187	664,898	104.0
福井県	15,646	17,435	33,081	33,808	97.8	196,155	357,631	357,631	309,545	115.5	17,212	17,297	34,509	34,013	101.5	363,682	371,416	735,098	720,647	102.0
富山県	39,590	35,110	74,700	78,272	95.4	188,646	406,517	406,517	447,242	90.9	29,485	31,128	60,613	62,462	97.0	471,941	477,962	949,903	968,141	98.1
愛知県	59,334	61,396	120,730	133,645	90.3	496,121	988,223	988,223	1,088,157	90.8	80,742	85,942	166,684	162,294	102.7	1,569,027	1,633,719	3,202,746	3,206,635	99.9
岐阜県	14,706	17,406	32,112	29,164	110.1	113,837	205,966	205,966	191,607	107.5	21,008	21,650	42,658	44,781	95.3	392,923	434,437	827,360	804,347	102.9
長野県	7,570	20,052	27,622	14,954	184.7	136,289	202,376	202,376	125,178	161.7	16,907	16,408	33,315	33,301	100.0	266,543	315,160	581,703	541,560	107.4
三重県	4,721	5,146	9,867	8,907	110.8	37,895	70,634	70,634	72,278	97.7	5,443	5,922	11,365	8,525	133.3	91,613	99,292	190,905	152,316	125.3
滋賀県	7,582	7,554	15,136	15,784	95.9	68,071	61,557	129,628	149,797	86.5	11,502	10,431	21,933	26,114	84.0	203,318	184,092	387,410	425,071	91.1
京都府	14,274	14,146	28,420	28,308	100.4	155,130	143,348	298,478	321,851	92.7	15,095	16,086	31,181	32,851	94.9	342,618	359,771	702,389	704,980	99.6
兵庫県	26,029	23,097	49,126	43,612	112.6	168,558	155,441	323,999	305,923	105.9	17,140	19,010	36,150	37,992	95.2	367,755	382,884	750,639	796,734	94.2
和歌山県	7,330	6,862	14,192	14,663	96.8	54,072	50,070	104,142	109,686	94.9	7,637	7,862	15,499	16,566	93.6	155,145	150,287	305,432	329,534	92.7
大阪府	2,568	2,696	5,264	1,974	266.7	13,911	15,759	29,670	14,890	199.3	6,627	7,974	14,601	15,067	96.9	106,834	116,686	223,520	401,239	55.7
広島県	41,592	42,743	84,335	77,528	108.8	284,959	275,091	560,050	571,027	98.1	24,641	25,996	50,637	49,117	103.1	643,139	651,000	1,294,139	1,235,171	104.8
岡山県	24,971	24,883	49,854	57,091	87.3	136,136	140,151	276,287	337,628	81.8	25,284	26,914	52,198	53,019	98.5	428,309	450,367	878,676	934,415	94.0
島根県	9,403	12,362	21,765	15,065	144.5	51,846	56,568	108,414	92,150	117.6	8,163	8,836	16,999	15,585	109.1	142,631	154,207	296,838	276,565	107.3
山口県	7,406	7,561	14,967	13,414	111.6	61,722	61,659	123,381	124,953	98.7	6,881	6,921	13,802	14,116	97.8	142,422	144,096	286,518	291,811	98.2
鳥取県	12,764	14,682	27,446	26,336	104.2	85,056	90,320	175,376	164,915	106.3	5,819	6,571	12,390	11,037	112.3	152,478	162,913	315,391	317,286	99.4
徳島県	5,718	6,685	12,403	10,637	116.6	38,388	42,850	81,238	67,414	120.5	2,301	2,257	4,558	3,473	131.2	49,012	60,192	109,204	92,593	117.9
香川県	4,798	4,666	9,464	13,871	68.2	34,509	31,260	65,769	111,685	58.9	3,316	3,915	7,231	6,100	118.5	76,101	76,284	152,385	153,241	99.4
愛媛県	9,906	10,979	20,885	18,683	111.8	65,950	74,936	140,886	130,108	108.3	12,341	12,587	24,928	24,613	101.3	227,344	235,936	463,280	443,003	104.6
高知県	9,196	9,307	18,503	15,837	116.8	59,898	57,870	117,768	103,669	113.6	2,269	3,175	5,444	4,226	128.8	72,728	80,843	153,571	153,497	100.0
大分県	13,908	12,450	26,358	31,431	83.9	87,820	83,165	170,985	207,737	82.3	11,552	12,226	23,778	25,480	93.3	208,225	198,999	407,224	454,975	89.5
長崎県	16,193	18,548	34,741	31,224	111.3	78,907	93,238	172,145	161,189	106.8	15,087	16,944	32,031	30,063	106.5	237,158	255,895	493,053	470,182	104.9
鹿児島県	16,700	17,242	33,942	26,104	130.0	75,119	74,904	150,023	123,366	121.6	16,093	17,496	33,589	31,237	107.5	236,158	253,963	490,121	492,696	99.5
福岡県	34,084	34,264	68,348	64,336	106.2	266,481	213,975	480,456	468,139	102.6	36,260	38,176	74,436	72,718	102.4	797,116	881,567	1,678,683	1,536,693	109.2
熊本県	4,388	4,453	8,841	8,889	99.5	28,384	25,041	53,425	57,285	93.3	7,911	9,315	17,226	12,025	143.3	116,417	127,106	243,523	191,799	127.0
宮崎県	25,911	34,240	60,151	44,812	134.2	12,494	164,805	177,299	216,428	81.9	12,579	13,956	26,535	26,310	100.9	252,797	285,310	538,107	497,556	108.2
合計	879,925	941,892	1,821,817	1,761,977	103.4	5,770,131	7,222,954	12,993,085	11,795,478	110.2	945,041	999,509	1,944,550	1,928,497	100.8	17,365,096	18,420,622	35,785,718	35,764,695	100.1

※2006年9月～2007年2月(上期)／2007年3月～8月(下期)

品質向上に取り組み、お客様に信頼される 魅力ある組合企業を目指します

ISO9001の認証取得 エンドユーザーの満足度向上につなげます

自動車リサイクル部品の品質は、業界の統一基準がありません。NGP協同組合はグループとして発足以来20年間、リサイクル部品を安心して使っただけのようにするため、グループの中で一定の品質基準を設け、適正な商品だけをグループの共有在庫として取り扱い、市場に供給するよう努力してきました。

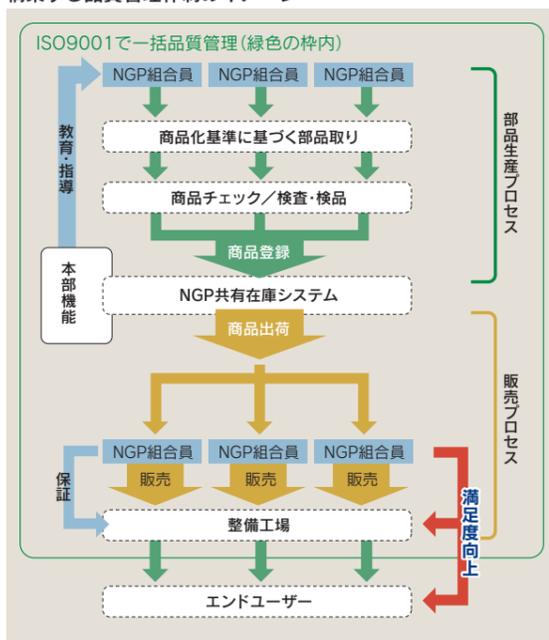
この結果、リサイクル部品の世界で「NGPブランド」として定着、業界における品質基準のリーダー役として、市場を牽引してきたと自負しています。しかし、グループ内の品質基準は、あくまでも内部の自主的基準でしかありません。

そこで国際的に通用するISO（国際標準化機構）に沿った品質管理を徹底し、一般消費者の方にもわかりやすく、安心して使っただけのようにと、ISO9001の認証取得を実現しました。

認証取得は、NGP協同組合の本部で取り組みました。すでに内部の品質基準を設けて高品質なリサイクル部品を提供してきたことから、これらを整理し、また不足している部分は補充を行い、一貫した品質管理マネジメントを確立しています。

取得後、NGPブランドのリサイクル部品は、品質

構築する品質管理体制のイメージ

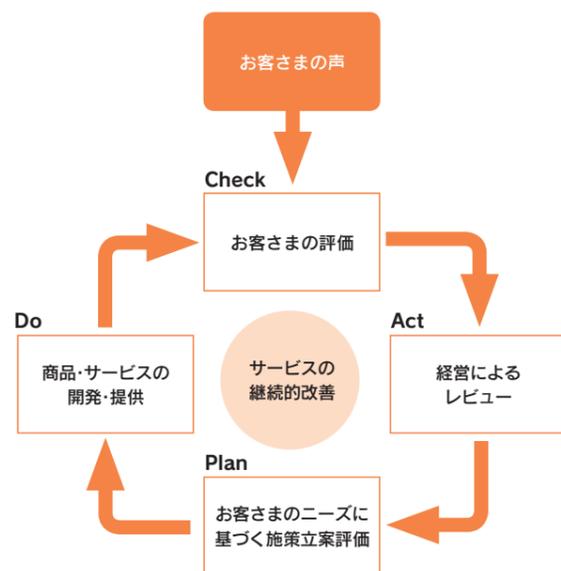


管理の点で「ISO9001の認証を受けたNGP本部の組員向け商品化基準に従っています」と、エンドユーザーの方へもわかりやすく説明し、利用を薦めることができます。

お客さま満足向上への基本姿勢 サービスの質向上への枠組み

当組合は、お客さまの声に真摯に耳を傾け、サービスの質を継続的に改善していくため、Plan（計画：施策を立案）、Do（実施：サービスを開発・営業拠点でお客さまに価値を提供）、Check（評価：お客さまからの評価・ご意見を収集）、Act（改善：経営によるレビュー）というPDCAサイクルを回し、お客さま満足度の向上をめざしています。

【お客さまへのサービスの継続的改善プロセス(PDCAサイクル)】



現在でもお客様からのクレーム発生は、本部でデータをしっかり把握しています。クレーム発生がたび重なる組員に対しては、なぜクレームが発生するのかについて現地調査を行い、クレーム発生がなくなるよう指導しています。この取り組みも、ISO9001に沿って体系化します。

こうした取り組みを通じて、NGPブランドのリサイクル部品が高品質であることをエンドユーザーにわかりやすく説明できるようにし、顧客第一主義を推進していきます。

自動車整備業販促チラシ集 CD-ROM「お客様と華したい!」を販売

環境にやさしい自動車整備・修理市場のビジネス拡大を支援いたします

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は、自動車整備業の皆さんのお客様とのコミュニケーション・チラシ集「お客様と華したい!」の販売をはじめました。同名の自動車整備業販促チラシ集CD-ROMを提供します。積極的なエコカーライフの提案で、お客様を呼び込んでビジネスチャンスを広げていただきたいとNGPは考えています。

CD-ROMにはリサイクル部品を使った環境整備や車検などをお客様に呼び込むための販促チラシが簡単に制作できる素材が入っています。来店客への手渡しや、イベントのDMやポスティングなど、自動車整備業の皆さんの営業に活用できるチラシ集ツールです。

われわれNGP協同組合の組員にも、整備業を兼業している組員がいます。整備兼業組員は、環境委員会の中のプロジェクトとして自動車情報部会を設置し、自動車整備業の目線で、カーアフターマーケットの活性化や自動車リサイクル部品をすみずみに浸透させる手法について検討しています。

NGP協同組合にとって、最大の課題は自動車リサイクル部品を積極的に修理に使ってもらうことです。それには、修理の主役である自動車整備業の皆さんに認知されなければなりません。自動車情報部会のプロジェクトは、整備業の皆さんに認知をいただくためにどうしたらよいかを考えました。

その結論のひとつが、不足しがちなお客様とのコミュニケーションを積極的にとってもらうために開発した今回のツールです。ただしこれは第1弾の提案にすぎません。

NGP協同組合は「リサイクル部品の販売促進を自動車整備業の皆さんと一体になって進めたい。整備業の皆さんにプラスとなるノウハウを提供し、お客様の確保につなげてもらう。

今回のキャンペーンは始まりであって、今後継続してさまざまな提案を行いたい」（青木勝幸理事長）と考えています。

自動車整備業販促チラシ集CD-ROMには、エコカーライフ

を提案するきれいなデザインのカラーチラシが18種類。車検のご案内、定期点検のご案内など、お客様を囲い込むためのハガキ印刷素材が4種類。合計22種類の素材が1枚のCD-ROMに収められています。

チラシ制作は極めて簡単にできます。パソコンにCD-ROMをセットし、必要なデザインを選択。チラシの下欄スペースに自社名、住所、電話番号等を書き込んで、カラープリンタで印刷すればできあがります。

このCD-ROMに2種類のリサイクル部品ポスター、リサイクル部品推進パンフレット50枚をつけて「お客様と華したい!セット」として提供します。

リサイクル部品の利用などは、自動車リサイクル法の施工後、関心を持っているユーザーは増えているのですが、「よく分からない」というユーザーも多いのが実態です。そういう時にこのCDに収められた販促チラシを使って、リサイクル部品のサービス提供をしているお店であることをお客様に告知していただくと、効果的です。チラシを使ったキャンペーンを行うことで、エコ整備に取り組んでいる整備業者だということがユーザーの中にも広がり、信頼を得られます。

そうした一つの活動が、お客様とのコミュニケーションを生み、明日の需要につながるのだと、NGP協同組合は考えています。



ぜひ使っていただきたい販促チラシができました。お客様へさまざまなサービス提案が簡単にできるチラシ素材がCD-ROMに収まっています。NGP協同組合は自動車整備業のサポートを本気になって考え続けます

2007年活動方針

「NGPイズム」の実践と「NGPブランド」の擁立で更に「強いNGP」へ

大石名誉顧問の熱い情熱のもと創設されたNGPも、本年21回目の総会を迎えることになりました。その間、幾多の苦難、試練に直面してきましたが、その時々の執行部、またメンバー1社に1社のたゆまぬ努力と結束力により乗り越えてきました。

その原動力となったのは、まぎれもなくNGPの理念であり、三大信条の実践ではなかったでしょうか。すべては「お客様第一」から始まります。お客さまの立場に立つて考える、お客さまのニーズに的確に応えながら、更にその一歩先を考える。そして「より良い商品を より正確に より早く」お客様にお届けする。そうした姿勢を貫いてきたからこそ、ご支援いただいている今のお客様があるのではないのでしょうか。そして「補修部品業界のリーダーたる事」、これは私たちの社会的責任を表していると言えます。

商人の心得として「三方よし」、売り手よし、買い手よし、世間よし、という言葉がよく使われます。証取引においては、当事者の売り手と買い手だけではなく、その取引が社会全体の幸福につながるものでなければならないという意味です。

この精神こそ、まさにお客様第一により顧客満足を高め、企業の社会的責任を果たし、社会貢献を促すことに通じています。更に現在においてはインターネットを中心とした社会の情報化とグローバル化の進展により市場経済は、自由、透明かつ公正なことが求められ、また「地球環境の保全」が経済活動における不可欠の前提にもなっています。

私たち、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は、これまで同様、使用済み自動車の適正処理により、この「地球環境の保全」に全力で取り組んでいかなければなりません。

また、早稲田大学・JAPRAとの共同研究によって発表された、リサイクル部品使用によるCO2削減効果を広く社会に訴え、リサイクル部品での修理が、地球温暖化防止にも役立つという事を、一人でも多くの一般消費者に周知していく活動をしていかなければならないと考えます。

そしてNGP組合員一社一社が、社会にとっても、地球にとっても、地域にとっても真に必要とされる、なくてはならない企業となることが使命であり、それが社会に貢献するという事になると確信しています。

今期体制のもと、組合員の声を真摯に受け止め、組織として、変えてはならない事、変えていかなければならない事をしっかり見極め、戦略的施策を推進する理事会と、事業活動を推進する委員会とが両輪となり、組合員各社の成長発展を礎にした「強いNGP」を目指して邁進して行く所存です。

組合員皆様のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

小幡 等

さいたま市産業創造財団登録専門家（経営アドバイザー）
CEAR 登録環境マネジメントシステム審査員
グリニッシュ・ビレッジ有限会社取締役 COO（環境コンサルタント）
行政書士（東京都行政書士会所属）

環境業としてのCSR展開に期待します

CSR活動を展開していくうえで重要なポイントは、変革に対する経営層の揺るぎない意志と従業員の行動です。このことを、中小企業事業協同組合であるNGP日本自動車リサイクル事業協同組合にあてはめてみるならば、組合本部の内部統制と組合員たる各個社の実践が求められていると言えます。

今年のCSRレポートを拝見し、また、組合本部の方々のお話を伺って、強く感じたことは、前述のCSRの基本をよく理解され、そのうえで環境業としての発展を総合的に考えられている、ということでした。もともとNGPの事業は自動車リサイクルそのものを具現化するものですが、今年の活動からは、それに加えて地球温暖化やエンドユーザーの安心・安全といったテーマへの広がりを読み解くことができます。

地球温暖化では、早稲田大学と共同でCO2削減効果のデータベースを構築するという活動が特筆に価します。NGPの事業の根幹である資源の再利用から一歩踏み出し、CO2削減にまで活動を深めていくことは、自動車業界全体の流れのなかでも当然のことと言えるでしょう。また、安心・安全では、NGP本部でISO9001を取得し、商品化への基準を確立させたことに注目できます。業界標準の明確化は、エンドユーザーにとって、選択の指標となる大切なものです。それは、NGPの業績向上とエンドユーザーの満足とを両立させ、Win-Winな関係から持続可能な社会の形成へと繋がっていく可能性を秘めています。

来年のレポートでは、今年の活動で築いた総合的な環境業として方向性が、どう具現化されたのか、その詳細が記述されるような活動が展開されていくことを願っています。

阿部 功

あいおい損害保険株式会社
損害サービス業務部部长

自動車リサイクル技術の向上でCSR確立を

私どもあいおい損保では、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合との、使用済み自動車の適正処理及び、リサイクル部品を活用する処理の推進という連携を通し、持続可能社会形成のためのパートナーシップを構築しています。

従来の、大量生産、大量消費をよしとする社会から決別し、つくったものを世代を超えて長持ちさせて大事に使う「持続可能社会」へと舵を切り替えていくことは、我が国の将来を展望するうえで、もつとも重要な視点です。廃棄物を減量し、資源を節約することは、国民の経済に対する負担を軽減するという点で、持続可能な社会の実現に向けた具体的な活動の第一歩であり、地球環境に優しく、国民負担も軽減できる暮らしへの転換という発想を、あらゆる部門で展開すべきであるといえるでしょう。

そうした視点から、今年のCSRレポートを拝見すると、随所に、持続可能社会に対するNGPの確固たる信念を感じることが出来ます。特に、年間部品売上が昨年実績対比101%、部品生産実績は、生産登録合計点数が昨年実績対比105.6%、生産登録合計金額も102.1%、と全て増加している事実は、NGPが担う日本の自動車リサイクルが確実に展開されていることを意味しており、心強く思えます。我が国の平均自動車使用年数は、ここ数年増加傾向にあります。また、新たな排ガス規制など、自動車をめぐる環境性能も確実に向上しています。このことは、新たな技術革新とその再活用が自動車業界をめぐる将来の重要課題であることを意味しています。来年以降、NGPのCSR活動を通し、こうした技術のキャッチアップがなされていくことを、期待しています。

NGP日本自動車リサイクル 事業協同組合員名簿

(2007年10月現在)



コード	会社名	郵便番号	住所	電話番号
北海道				
101	株式会社	079-8431	旭川市永山町1丁目30番地2	0166-47-2771
102	株式会社	098-0333	上川郡剣淵町元町1番地2号	0165-34-2457
103	株式会社	041-0824	函館市西栲町818-17	0138-48-2000
104	株式会社	067-0022	江別市江別太403-1	011-380-2633
105	株式会社	159-1365	苫小牧市字植苗166-3	0144-51-8008
106	株式会社	061-1270	北広島市大曲804番地37	011-377-5577
107	株式会社	079-1101	赤平市共和町220番地58	0125-34-4100
108	株式会社	082-0004	河西郡芽室町東芽室北1線6番25	0155-62-6833
109	株式会社	085-0063	釧路市文苑3丁目49番8号	0154-38-4471
111	株式会社	061-3244	石狩市新港南1丁目22番地16	0133-60-4828
112	株式会社	080-2463	帯広市西23条北4丁目1-27	0155-38-8011
113	株式会社	084-0925	釧路市新野24-1084	0154-57-3718
114	株式会社	099-0877	北見市柏木4番地12	0157-66-5775
101-01	R/Tオートモイ	077-0007	留萌市栄町3丁目2-8	0164-43-5330
青森県				
201	株式会社	039-1563	三戸郡五戸町字大字沢16番地の2	0178-62-5471
204	株式会社	035-0043	むつ市南赤川1町10-18	0175-22-1021
215	株式会社	031-0071	八戸市沼館1丁目15-12	0178-73-1117
217-01	株式会社	038-1304	青森市浪岡大字高屋敷字社元14-1	0172-69-1199
217-03	株式会社	039-2246	八戸市栲樹野工業団地2丁目10-36	0178-28-8535
秋田県				
207	株式会社	015-0011	由利本荘市石脇字尾花沢57	0184-22-5740
219	株式会社	017-0204	鹿角郡小坂町荒谷字手紙沢54番地63	0186-29-3990
岩手県				
211	株式会社	028-1361	下閉伊郡山田町織笠15-21-1	0193-81-1155
217	株式会社	028-3602	紫波郡紫波町大字藤沢1地割字大下田183-3	019-698-3399
山形県				
206	株式会社	998-0875	酒田市東町1丁目24番地16号	0234-22-0307
206-01	株式会社	990-0001	山形市穂積97番地1	023-626-1288
217-02	株式会社	998-0005	酒田市大字宮海字南浜1-101	0234-35-0120
宮城県				
202	株式会社	989-6135	大崎市古川稲葉字亀の子71番地	0229-23-3071
203	株式会社	981-1241	名取市高舘熊野堂字飛鳥西9番地の17	022-386-2461
216	株式会社	987-0511	登米市迫町在沼字散田56-1	0220-21-5153
217-04	株式会社	985-0011	塩竈市貞山通り1丁目45の20	022-361-6669
福島県				
205	株式会社	963-0102	郡山市安積町笹川字北向72	024-946-1180
209	株式会社	969-0104	西白河郡泉崎村太田川上礼堂55-1	0248-27-1736
210	株式会社	963-0725	郡山市田村町金屋字マセロ48	024-944-1280
212	株式会社	969-6200	大沼郡会津美里町宮里12	0242-55-1055
213	株式会社	979-1525	双葉郡浪江町大字高瀬字小高瀬189-2	0240-35-0100
214	株式会社	960-0241	福島市笹谷字中ノ畑45	024-555-5131
218	株式会社	970-1147	いわき市日間町大字利井田木140	0246-47-1521
220	株式会社	963-0724	郡山市田村町上行合字北古川47-1	024-944-4100

コード	会社名	郵便番号	住所	電話番号
茨城県				
305	株式会社	319-0106	小美玉市堅倉634	0299-48-1398
306	株式会社	307-0013	結城市大字中134	0296-32-1893
310-05	株式会社	310-0035	水戸市東原2-1-35 小林ビル2階	029-226-4261
栃木県				
302	株式会社	327-0821	佐野市高萩町399	0283-23-3256
308	株式会社	329-3215	那須郡那須町大字寺乙2890	0287-72-0450
309	株式会社	321-0971	宇都宮市海連町179	028-662-2287
310-03	株式会社	321-0942	宇都宮市南2丁目4番5号 サンステ1階	028-649-5967
群馬県				
307	株式会社	370-0105	伊勢崎市長伊与久3097番地1	0270-76-3683
311	株式会社	371-0852	前橋市総社町総社2913番地	027-251-6365
310-04	株式会社	371-0847	前橋市大友町3-9-2 第2神栄ビル3F	0272-55-5651
311-01	株式会社	370-0321	太田市新田木崎町1780	0276-56-6411
新潟県				
301	株式会社	959-3106	岩船郡荒川町切田1042-2	0254-62-2178
303	株式会社	950-3307	新潟市北区樋ノ入1389-3	025-386-1555
304	株式会社	950-1122	新潟市西区木場1634番地1	025-377-2410
316	株式会社	956-0112	新潟市秋葉区新保3513番地	0250-61-0501
303-01	株式会社	950-3102	新潟市島見町3268-10	025-255-3055
埼玉県				
310	株式会社	360-0023	熊谷市佐谷田1285-2	048-524-0610
312	株式会社	346-0028	久喜市河原井17	0480-26-3559
313	株式会社	350-0822	川越市山田東町1660-1	049-227-4435
314	株式会社	350-0833	川越市芳野台2-8-36	049-228-5111
315	株式会社	350-0166	比企郡川島町戸守440番地	049-299-2733
310-01	株式会社	331-0812	さいたま市北区宮原町3-167 桜井ビル1階	048-652-0505
310-02	株式会社	360-0023	熊谷市佐谷田1202-1 2F	048-528-7641
東京都				
405	株式会社	190-1201	西多摩郡瑞穂町二本木753番地の3	042-556-2735
411	株式会社	182-0001	調布市緑ヶ丘1-37-3	03-3300-0685
412	株式会社	133-0002	江戸川区谷河内2-8-15	03-3677-3331
421	株式会社	144-0051	大田区西蒲田6-36-11 西蒲田NSビル8F	03-3736-0431
310-06	株式会社	192-0907	八王子市長沼町206-3 ブルバールビル1F	0426-37-5580
310-08	株式会社	123-0851	足立区梅田7-24-12 有賀サンハイツ2F	03-5845-1371
310-09	株式会社	177-0041	練馬区石神井町2-13-17 龍英ビル2F	03-3904-1890
千葉県				
406	株式会社	289-2101	匝瑳市春海74-1	0479-73-0830
407	株式会社	285-0066	佐倉市上別所字和田野118-1	043-498-2461
408	株式会社	284-0008	四街道市鹿放ヶ丘264-1	043-423-2700
414	株式会社	263-0001	千葉市稲毛区長沼原町429-1	043-257-9449
416	株式会社	274-0053	船橋市豊高町640番地5	047-457-5758
417	株式会社	290-0047	市原市岩崎911-1	0436-24-4182
310-07	株式会社	260-0018	千葉市中央区院内2-12-1 金子ビル1F	043-223-6423
315-01	株式会社	277-0924	柏市風早1-9-4	04-7190-0980

コード	会社名	郵便番号	住所	電話番号
神奈川県				
404	株式会社	214-0031	川崎市多摩区東生田4-6-3	044-976-1487
409	株式会社	235-0021	横浜市磯子区岡村5-21-15	045-761-6551
410	株式会社	243-0034	厚木市船子247-1	046-220-1441
413	株式会社	246-0002	横浜市瀬谷区北町26-9	045-921-4479
418	株式会社	224-0034	横浜市都筑区勝田町1030-1	045-595-3035
419	株式会社	256-0815	小田原市小幡4-10-10	0465-46-1082
420	株式会社	254-0075	平塚市中原3丁目3番33号	0463-32-5852
401-01	株式会社	250-0863	小田原市飯泉500-1 255ビル2F	0465-47-7782
山梨県				
415	株式会社	400-0113	甲斐市富竹新田1651-2	055-276-5958
静岡県				
401	株式会社	410-0011	沼津市岡宮736	055-921-9678
402	株式会社	426-0002	藤枝市横内2250	054-644-5656
402-01	株式会社	435-0033	浜松市南区石原町587-1	053-468-2290
403	株式会社	412-0011	御殿場市古沢986-4	0550-89-5110
422	株式会社	435-0016	浜松市東区和田町868-1	053-462-1128
長野県				
403-01	株式会社	399-8201	安曇野市豊科南穂高128-2 斉藤ビル階2号室	0263-71-2305
505-01	株式会社	383-0054	中野市立ヶ花413番地	0269-24-7124
604-01	株式会社	399-3302	下伊那郡松川町生田823の5	0265-34-1522
609	株式会社	384-0093	小諸市和込639-1	0267-23-7588
613	株式会社	390-0852	松本市島立1132-21	0263-40-2100
岐阜県				
603	株式会社	503-0848	大垣市古宮町長畑507-1	0584-89-7148
605	株式会社	509-0201	可児市川合字上田2749-48	0574-62-2328
508-01	株式会社	506-0041	高山市下切町1757	0577-35-5963
605-01	株式会社	500-8132	岐阜市尼ヶ崎町1丁目18番地	058-249-5785
愛知県				
601	株式会社	463-0003	名古屋市中区下区段味落合376番地	052-736-4741
602	株式会社	490-1435	海部郡飛島村大字梅之郷字中梅60-2	05675-5-0672
604	株式会社	448-0807	刈谷市東刈谷町2丁目6-12	0566-22-3709
606	株式会社	440-0086	豊橋市下地町字新道29番地	0532-53-3907
607	株式会社	473-0924	豊田市花園町東大切148	0565-52-0015
608	株式会社	481-0045	北名古屋市中之郷天神133番地	0568-26-6363
610	株式会社	442-0006	豊川市三蔵子町野添59-1	0533-86-2408
612	株式会社	494-0018	一宮市富田字砂入1936番地1	0586-62-1757
614	株式会社	470-2531	知多郡武豊町大字富貴字北側45-7	0569-74-1007
615	株式会社	444-3173	岡崎市滝町字長坂92番地の5	0564-27-7022
616	株式会社	444-0943	岡崎市矢作町桜海道37番地	0564-33-5757
310-10	株式会社	460-0012	名古屋市中区千代田5-11-11 マガキビル東館5F	052-243-9800
604-02	株式会社	448-0813	刈谷市小垣江町御茶屋下55-2	0566-26-5537
604-03	株式会社	475-0034	半田市東徳田町118番2	0569-25-0045
三重県				
611	株式会社	512-1105	四日市市水沢町3861番地の1	059-329-3987
617	株式会社	510-0001	四日市市八田3丁目7番9号	059-364-5252
富山県				
505	株式会社	937-0009	魚津市寿町68-3	0765-22-6510
508	株式会社	932-0031	小矢部市岡260-1	0766-67-2721
509	株式会社	935-0053	氷見市万尾840番地1	0766-74-3022
石川県				
501	株式会社	924-0027	白山市相川町1824	076-276-1593
504	株式会社	920-0211	金沢市湊3丁目3の2	076-239-4510
507	株式会社	926-0828	七尾市白馬町58-13-1	0767-57-2114
510	株式会社	923-0811	小松市白江町 口62番地	0761-21-0168
福井県				
502	株式会社	910-0804	福井市高木中央1丁目3404	0776-57-1236
503	株式会社	919-0445	坂井市春江町中筋高田1-2	0776-51-3253
506	株式会社	915-0235	越前市不老町29-7	0778-43-1701
滋賀県				
701	株式会社	527-0034	東近江市沖野2丁目1番6号	0748-22-1389
京都府				
702	株式会社	614-8121	八幡市下奈良小宮44番地の1	075-983-9991
704	株式会社	601-8113	京都市南区上鳥羽南苗代町5-1	075-681-3431
711	株式会社	624-0101	舞鶴市宇大川182番地	0773-82-0130
大阪府				
709	株式会社	583-0005	藤井寺市寺社1丁目12-59	0729-37-0268
713	株式会社	583-0847	羽曳野市大黒159-1	0729-58-3815
703-01	株式会社	553-0002	大阪市福島区灘洲1-7-39-103	06-6453-8701

コード	会社名	郵便番号	住所	電話番号
兵庫県				
703	株式会社	673-0433	三木市福井2265	0794-83-0162
705	株式会社	670-0981	姫路市西庄甲236-2	079-298-4650
710	株式会社	660-0857	尼崎市西向島町15-4	06-6414-2222
和歌山県				
706	株式会社	649-6326	和歌山市和佐中112	073-477-0532
707	株式会社	645-0012	日高郡みなべ町山内56	0739-84-2222
岡山県				
802	株式会社	712-8003	倉敷市水島明神町5-20	086-446-2041
805	株式会社	701-0145	岡山市今保577	086-241-5678
808	株式会社	701-4271	瀬戸内市長船町長船1224-1	0869-66-8511
814	株式会社	700-0954	岡山市米倉86番地	086-243-6059
広島県				
801	株式会社	721-0952	福山市曙町4丁目6番7号	0849-53-3201
810	株式会社	739-1754	広島市安佐北区小原河原町204-7	082-840-1566
811	株式会社	731-1526	山県郡北広島町地73番地	0826-72-0333
813	株式会社	731-4312	安芸郡坂町平成ヶ浜4丁目2-78	082-884-1111
803-01	株式会社	730-0045	広島市中区観音町12-25 大田ビル1F	082-240-2466
山口県				
806	株式会社	759-0204	宇部市妻崎開作776-3	0836-44-2412
鳥取県				
809	株式会社	689-2304	東伯耆郡琴浦町逢東48	0858-52-2998
819	株式会社	680-0942	鳥取市湖山町東3丁目13番地	0857-28-9011